

# 令和4年度 保育園の自己評価



## 自己評価について

保育所保育指針では、「保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育内容について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない」となっております。そこで、常盤保育園では年に2回自己評価を実施し、保育の振り返りを行っており、その結果を踏まえ下記のとおり結果を公表し、今後更によりよい保育の提供に努めて参ります。

実施期間：令和4年12月21日～令和5年1月5日

対象者：35名

評価段階：A・3、よくできている B・2、ほぼできている C・1、努力が必要

項目	NO	評価内容	3	2	1	評価	意見・改善策	
I 保育 理念 及 び 保 育 観	1	当園の保育目標、保育方針、保育理念、保育運営方針を理解していますか。	13	20	2	B	評価は概ねAであるが No.1、4、11に関してB 評価という結果となり ました。  No.1、4については、定 期的に会議や研修で職 員へ提示し、更に理解 が深まるよう対応して いきます。	
	2	すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	27	8	0	A		
	3	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが保育園の重要な使命だと理解していますか。	27	8	0	A		
	4	日頃から、保育所保育指針を読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考える際に参考にしていますか。	8	20	7	B		
	5	保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。	29	6	0	A		
	6	保育園には、入園している子どもの保育だけでなく、広く地域の子育て支援をする社会的役割があることを意識していますか。	18	17	0	A		
	7	子どもの人権を尊重した言葉かけや呼び方、注意の仕方を心がけています	23	11	1	A		
	8	子どもが熱中している時には、そのときの保育の内容や流れに変更が生じても危険のない限りその活動を見守る等の柔軟性をもっていますか。	21	14	0	A		
	9	子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいますか。	21	14	0	A		
	10	保育士等は、子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、すべての言動が子どもにとってモデルになっていることを常に意識していますか。	22	13	0	A		
	11	子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。	13	22	0	B		
II 子 ど も の 発 達 援 助	① 0 歳 児	12	一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、成育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。	2	9	2	B	0.1.2歳児の設問は殆 どの項目でA評価とい う結果となりました。  No.12については、会議 で個々の発達について 確認し合い、更に理解 が深まるよう努めて行 きます。
		13	離乳食は、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うよう工夫していますか。	7	5	1	A	
		14	赤ちゃんの目の動き、泣き声しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか。	11	2	0	A	
	② 1 ・ 2 歳 児	15	一人ひとりの生活リズムや欲求、その体調等を把握した上で、睡眠の時間を調整する柔軟性を持ち合わせていますか。	9	3	1	A	
		16	「できない、やって」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持を受け止め、一人ひとりの発達に応じた援助をしていますか。	14	5	0	A	
		17	子どもがおもちゃの取り合いなどでぶつかり合うとき、危険のないよう配慮しつつ、子どもの発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることができますか。	12	7	0	A	
		18	「おや、何だろう?」「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き出す教材や素材、場を用意する心配りをしていますか。	9	9	1	A	
		19	子どもと会話をするときに、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持や伝わった喜びを共感していますか。	15	3	1	A	
		20	自分の思いどおりにならず、怒ったり泣いたりする子どもに対して、丁寧に話して聞かせたり、気持を切り替える時間をゆったりと持つことができますか。	10	8	1	A	

項目	NO	評価内容	3	2	1	評価	意見・改善策	
II 子どもの発達援助	③ 3 歳児以上	21	子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を開いて、信頼関係をつくる努力をしていますか。	14	1	1	A	3歳児以上の設問は、B評価も複数見られ、No.25、28については個々の良い面や苦手な面を周りの職員と意見を出し合い、更に発達への理解を深めていく。No.27については、少人数に分かれて以上児と未満児の交流を可能な範囲で機会をもつようにしていく。No.32については、職員が自信を持てるよう環境づくり(人員配置、連携)が必要なのではないかと意見が上がりました。
		22	子どもが色々な楽しさを味わうため、散歩など戸外に出かける機会を多く取り入れていますか。	8	7	1	A	
		23	「保育園や先生が好きだ」といった幸福感を味わえるために、子どもが充実できる活動や場を日頃から用意していますか。	7	7	2	A	
		24	今日咲いた花、飛んできた鳥や虫など、それぞれの季節ならではの子どもの感動が、自分自身のものとして受け止められていますか。	12	3	1	A	
		25	子ども達が、生活や遊びを通して、生きた言葉を多く自分のものとしてできるように工夫していますか。	7	8	1	B	
		26	「早く～しなさい」、「だめ」、「いけません」などの指示・命令する言葉をできるだけ使わないようにしていますか。	7	6	3	A	
		27	異年齢の子ども同士の触れ合う機会をつくり、お互い心が育ち合うことを意識していますか。	5	10	1	B	
		28	見たこと、感じたものに対して、言葉、絵、造形、からだ、音などその子が最も好きな、得意とする方法で表現することを大事にしていますか。	3	12	1	B	
		29	残さず食べることを無理強いせず、個々に合わせた量を加減や配慮していますか。	12	3	1	A	
	と 主 体 性	障 害 児 保 育	30	保育園は、障害をもつ子どもでない子ども「共生」「共育」の観点から、当たり前前として保育するという考え方にあなたは共感しますか。	27	8	0	
31			日常的に個別な支援が必要な子どもの保護者との話し合い、不安や焦り等悩みを抱えている保護者の気持の援助に心がけていますか。	18	16	1	A	
32			子どもの遊びが、主体性の育ちに繋がるような関わりや環境づくりを意識していますか。	14	20	1	B	
対 す る 支 援 者 に	III 保 護 者 に	33	園での様子を伝え家庭での様子を聞く中で、子どもの育ちを保護者とともに、考え、喜びあうことができますか。	23	11	1	A	No.35については、応対時等や日々の関わりの中で更に信頼関係が築けるよう努めています。
		34	その日の子どもの健康状態や興味をもった遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。	23	11	1	A	
		35	保護者が育児の悩みや心配事を話してみたくなり、一緒に考えてくれる存在であると思えるように、こちらから進んで触れ合う事を心がけていますか。	14	18	3	B	
		36	連絡帳を、保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。	13	19	3	B	
IV 保育を支える組織的基盤	保 健 及 び 安 全	37	その子の体調や些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。	28	7	0	A	概ねA評価であるが、幾つかB評価も見られました。
		38	日頃から虐待の早期発見に心掛け、虐待が疑われる場合には関連機関に通告を行う義務があることを知っていますか。	31	4	0	A	
		39	地震や火災等の非常災害時や不審者侵入等の非常時に、何をしなければいけないか理解していますか。	17	18	0	B	
	職 員 の 資 質 向 上	40	一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができますか。	11	21	3	B	No.39については、避難訓練時、他のクラスとの連携等を再確認する、訓練を様々なシミュレーションで行い各々が臨機応変に対応できるようにしておくとの意見が上がりました。
		41	自分の保育に対する同僚や上司からの批判や意見を、感情的にならずに謙虚に聞き、時には反省することができますか。	23	10	2	A	
		42	保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか。	18	16	1	A	
		43	保育の悩みや疑問を解決するために、研究し専門書等を参考にして、そこから学ぶことができますか。	12	14	9	B	
		44	クラス内では子どもの成長を喜んだり、互いに感謝し認め合う等の職員間の信頼関係を良好に保つよう努めていますか。	28	7	0	A	